



自分たちの学校は
自分たちで創る！



中間テストと終えて

～何が理解できていて、何が
理解できていないのかを知ること～

中間テストが終わりしました。お疲れ様でした。手ごたえはあったでしょうか？

1年生にとっては中学生になって初めてのテストでした。教科の先生方の手づくりのテストに、思った以上の難しさを感じた人もいたかもしれませんね。今回は5教科でしたが、これが期末テストになれば技能教科のテストも加わりますので、今回以上に計画を立てて十分な準備をしておきたいですね。というように想像がつくことでしよう。

さて、テストの目的とは？ それは、これまでの学習内容をどのくらい理解できているか確認するためです。順位や点数も大事かもしれませんが、もっと大切なことは「何が理解できていて、何が理解できていないのかをきちんと「やること」です。そして、それをその羽放しせず、理解できていなかったところをきちんと解決させることです。

学習が進めば進むほどに、次から次へと知識の量は増えていきます。当然わからないところとその羽放ししたら、かたまりにしていけば、理解できていないところもどんどん増えていくわけですね。その量が増えていくから、多くの人が「あきらめて」しまうのです。今、ここで「むり～…」と思ってしまうのか、今、ここで踏み出すのか、今、この瞬間の心が全ての明暗を分けるのです。

もう一度言い直。順位や点数、点数にこだわるのではなく「X」がついた場所にこだわるのです。そして、そこを何とか自分の努力によって克服させてください。方法はたくさんあります。絶対的な家庭学習、先生への1つ1つへの質問攻め、そして何より日々の授業！ 何れもとの教え合い、何れもとの支持の風土が教室の中で見られるようになったら、まちがいなく集団の学力があがるでしょう。集団の学力があがるということは、個の学力があがることと同じ。さあ！ 必死で結果用紙を返すまで。勝負はその取柄と受け取った瞬間からです！

新しいと挑戦

自分たちの学校は
自分たちで創る！

5月6日(金)生徒総会が行われました。残り1週間、私は最後までその様子を見ることはできませんでしたが、教頭先生から、とても活発な意見交換ができていたと聞き、大変嬉しく思いました。特に、4号議案「地域と北中とのつながりを増やす取組」については、郷土愛の心と育ちの意味をも大変価値のある話し合いにはなりました。

この生徒総会により、令和7年度の生徒会が目指す方向が決定しました。あとは決めたことをどう具現化していくか！！ 2つの具体的な一歩が、まちがいになく新たな伝統へとつながっていくのです。「自分たちの学校は自分たちで創る」という思いを、全校生徒で共有できたことが大変嬉しいです。これから、みなさんがよい学校づくりのために「感じ」「動く」「夢を築く」にしています！！



【生徒総会 教頭先生の講評】

本日の生徒総会、お疲れさまでした。みなさんの参加する態度も(聞く姿勢)は良かったですね。滞りなく会を進行することができました。生徒総会の要点は、「みんなで決め、みんなで実行する」ことです。学校生活の主役はみなさん一人一人です。そして、今年度の生徒会のテーマは「アクション」です。「誰かからやらされるモード」ではなく、「自ら考えてやるモード」でいろいろな活動に取り組んでほしいと思います。結びに、本日の生徒総会に向けて、先日のリハーサルを含め、放課後遅くまで準備をしてくれた執行部や委員長の皆さんに感謝します。それでは、自分たちの手でよりよい北中を創り上げてくれることを期待しています。